## Ipad/iPod touch実践事例

## 学校名

## 泡瀬特別支援学校(肢体不自由)

アプリ名 担当者名 料金 小学部 算数(自立活動) 無料 「Countable10」「ならべ10」「あわせ10」 iPadアプリ 指導者:當眞正太 ・小学部5年生の男の子で、障がい名は筋ジストロフィー(福山型) ・電動車いすを操作できる。食事は自力だが、排泄、着替え等は全介助である。 章 簡単な日常会話を理解している。話すこともできるが声が小さく発音も不明瞭である。 生 ・平仮名の50音を完全ではないが読むことができる。 徒 ・1~4までの数量がわかる、10までの連続数えはできる。(H24・4月当時) ഗ ・10までの学習をおはじきを操作しての一対一対応等の学習をしていたが、飽きやすく、5 実 分持続するのが難しかった。 熊 ・H24年5月から、iPadの算数アプリを使った10までの順序数や数量、合成・分解につ いての概念の形成を目指して取り組んだ。 □ 18 UBA 1 2 3 4 5 1, 17 £3 £3 (1800L) 雪はいめへ ① Z 3 4 5 6 7 8 9 10 1. なんばんめ? トマトをかぞえよう 🊺 すうじと おなじものを えらんでね。 ፋ 4 10 **窓はひどりから**がはんめ 活 8 000 用 12345678910 方 「Countable10」 法 Countable 10 I 「ならべ10」 「あわせ10」 りんごをタップして 数をまとまりとして 左右がわかり、指 10までのあわせ 数える学習。イラ 視覚的に理解でき を当てて声に出し た数、わけた数 スト、数字、数詞 る。5の固まりを捉 て数えて、何番目 が視覚的に理解 のマッチングで理 えられると、理解 がわかるようにな できる。 解しやすい。 がスムーズになる。 ・iPadのアニメーションと効果音、直感的操作が児童の興味関心を高め、課題に集中して取り組 んだ。12月現在では30分は集中して学習できるようになった。 ・6月中旬頃には、1~5までの数量関係を理解することができた。イラストを繰り返しタップして 数えたり、5までの数量を、おはじきを数えて捉えたりすることで5までの数に慣れてきた。 児 ・7月中旬には、1~10までの数量関係において、おはじきを「1、2、3~」と最初から順序よく数え 童 て正解できるようになった。 生 ・9月後半には、1~5までの数の合成・分解の問題を全問正解できるようになった。正解すると 徒 大きな赤丸が画面に表示されることが学習意欲を高めている。 ・10月には、「5」や「10」を固まりとして視覚的に捉えられるようになり、すぐにおはじきの数を選 ഗ 択できるようになった。また、「5」を起点に「6、7、8、9、10」と数字を早く数えられるようになった。 変 ・10月後半には、1~10までの数の合成・分解の問題を全問正解できるようになった。しかし、2 容 と6で合わせて8というように5以上の数だと1~8までイラストを順序よく数えて時間がかかった。 ・11月初めには10までの数を左右どちらからでも順番を正解できるようになった。また「1~10」 を数えるまでもなく、数を固まりとして捉えられるようになり、すぐに正解できるようになった。 ・12月には10までの数の合成、分解の問題を容易に正解できるようになった。 ならべ10 Countable 10 すうじゅすうし 1~10までの「順序」の概念の獲 1~10までの「1対1 raskio1 得を図るためのアプリ 対応」と「数唱」を数 そ える力及び、「数(具 の 合きんすう合 体物、半具体物)と 666266 あわせ10 他 数字、数詞」の一致 1~10までの数の「合成・分解」の 資 9999 を図るためのアプリ 概念の獲得を図るためのアプリ 料 [abeio] \*これらのアプリは、文部科学省著作教科書「さんすう☆☆」を参考に作られてい

る。App Storeから無料でダウンロードできる。